

「都市スケールで考える——住居を含む大規模複合開発の企画提案」

出題主旨

この課題は、都市スケールで発想することを学ぶものです。名古屋市・笹島停車場跡地地区に対して、住居 500 戸以上を含む複合機能地区の開発企画を提案してください。この規模の再開発は、名古屋都心域の再編を促すものとなるでしょう。そのため、提案においては、(1) 新たなライフスタイルによる都心定住、ならびに (2) 都市構造上における新たな性格、の 2 点を考慮した複合用途構成を望みます。とくに、街路・公園・公的施設・住宅用地・商業業務用地を配置する土地利用計画を定めること、住生活に当然望まれる空間機能を考えること、車両動線・歩行動線（含、バリアフリー）に充分配慮すること——などに注意してください。個々の建物について詳細に書き込む必要はありません。

計画条件

- 住居 500 戸以上、ならびに複数の用途機能（商業業務など）を含むこと。
- 地区現況のうち、東西に横断する都市高速道路は除去できないが、地下に移設できることとする。また、船だまりは埋め立てすることができる。ただし、双方とも改変しないことが望ましい。
- 周辺地区との連携上必要であれば、敷地境界は適宜拡げてかまわない。
- 地区が大きすぎて扱いづらいのであれば、都市高より南側を現況のままとしてもよい。
- 街路は、周辺地域の交通事情の改善に役立つよう、充分に設けること。
- 居住人口規模に応じた公的施設（公園・学校など）を設けること。
- 地区に必要な量の駐車施設（スペース）を設けること。
- 必要に応じて、鉄道駅、ペDESTリアン・デッキなどの施設を提案してよい。
- 25%以上の緑被率を心がけること。

提出図面

- A3版3枚以上。材質は問わないが、インキングあるいは色鉛筆を用いて完成作品として仕上げる（CADでもよい）。
- 最大2名による共同提案を認める。このときは、A3版6枚以上とする。
- 図面は以下の内容を含むものとするが、レイアウトについては工夫してほしい。
 - （あ）タイトル・コンセプト説明：企画案の主旨を簡潔に記した文章ならびにそれを説明するダイアグラムや数表。
 - （い）配置計画図(1:2500以上)：街路・公園・公的施設（学校など）・駐車施設・宅地（住宅用地・商業業務用地など）を配置する土地利用計画を作成したのち、アクソメないしアイソメにより主な建築物を表現すること。主な建築物には、棟名・用途・階数・建築面積・

総床面積・(住居の場合、戸数)を明記すること(面積は概算でよい)。駐車施設には収容台数を添えること。緑地部分は緑色に塗ってほしい。

(う) 都心機能再編構想図(1:25000以上):名古屋都心域のなかにおける、笹島地区の機能的な位置付けを図的に示すこと。

(え) 動線計画図など(1:5000~1:2500):ひと・車の動線を図示したもの。周辺地区との結びつきを明示してほしい。また必要に応じて、同スケールによるゾーニング図を付け加えてよい。

(お) 地区詳細計画図など:地区詳細計画図は、1:500程度のアクソメないしアイソメで表現すること。一つ以上であればいくつでもよい。また必要に応じて、イメージ・パースを付け加えてよい。イメージ・パースは、地区内の屋外(地盤面)を視点として選び、企画案の空間イメージを理解してもらうためのもの。緻密さをさほど問わないが、地区内でのひとびとの活動をわかりやすく説明してほしい。

・提出物には、かならずタイトル・学生番号・氏名を書くこと。(い)~(お)地区詳細計画図については、図名・縮尺・パースケール・方角指示などを忘れぬよう。

スケジュール

課題説明	5月24日(木)13:00~	
中間チェック	5月31日(木)、4日(月)13:00。	((あ)~(う)素案チェック)
提出日時・場所	6月7日(木)~13:00	
課題講評	6月11日(月)13:00~	

ヒント

ー プロジェクトの完成時期は特に問いません(20年後でも結構ですし、来年でも結構です)。実現性そのものよりもむしろプロジェクトの「可能性」をアピールすることを心がけてください。皆さんが住んでみたい都市を提案するといいいでしょう。

ー 多様な世帯が住めるような、住居構成を心がけてください。もちろんバリア・フリーもです。

ー 住居関連の原単位:(いずれも目安として)

居住人口 2.5人/戸(郊外型住居)~1.5人/戸(都心型住居)、

駐車台数 1.5台/戸(郊外型)~0.7台/戸(都心型)

ー オフィス関連の原単位:

就業人口 0.1~0.15人/m²(業務床面積) 駐車台数 0.01台/m²

ー 小売施設の原単位

就業人口 0.06~0.03人/m²(売場面積) 駐車台数 ~0.1台/m²(郊外型)

ー 配置計画図のためのCADデータは、兼田研究室HPからダウンロードできます。

<http://archi2.ace.nitech.ac.jp/kaneda2/index.html>

ー 雰囲気伝えるためであれば、積極的にイメージ・フォトを活用してもよい。ただし、著作権の関係もあるので、コラージュはほどほどに。

ー 都市づくりは一朝一夕にはできません。ひとりでもできません。皆さんが都市づくりを考えるきっかけにしてください。

